

NEWS RELEASE

京阪電気鉄道株式会社
広報部

2025(令和 7)年 11 月 27 日

祇園四条駅の観光案内所内「Kyoto Culture Lab in 祇園四条チカル」にて 切り絵作家・望月めぐみ展「京のかんばせ」を開催

京阪電気鉄道株式会社(本社：大阪府枚方市、社長：井上欣也 以下、「京阪電車」)の祇園四条駅・観光案内所内にある「Kyoto Culture Lab in 祇園四条チカル」は株式会社京都エタニティ(本社：京都市中京区、社長：林 明)が運営し、京都の伝統工芸や文化、京阪沿線の魅力を発信する拠点として、様々な企画・商品販売を行っています。

この度、「Kyoto Culture Lab in 祇園四条チカル」において、切り絵作家・望月めぐみ展「京のかんばせ」を2025(令和 7)年 12 月 7 日(日)まで開催しています。

本展のタイトル「かんばせ」は、“顔”を意味する古語で、人の顔にその人の生き方や心があらわれるように、京都という街の表情にも長い歴史と文化が息づいています。望月氏は、そうした「京都の顔=かんばせ」を、舞妓や古の人びと、四季折々の風景などを題材に、一枚の紙に光と影を刻み込む切り絵の技法で描き出します。

展示では、新作「舞妓」をはじめ、紫式部や大原女など、京都ゆかりの人物を主題とした作品群を展示。会期中は作家自身による制作実演のほか、舞妓をモチーフにした T シャツやポストカード、京都バスグッズなどの販売も行います。

デジタルでは再現できない紙の質感と透過の美。その繊細な陰影がつむぐ“京の表情”を、ぜひご体感ください。

詳細は下記のとおりです。

1. 開催概要

- ・期 間：～12 月 7 日(日)
- ・内 容：切り絵作品展示・グッズ販売・制作実演

※制作実演日：11 月 29 日(土)・30 日(日)、12 月 7 日(日)

各日 13:00～17:00

2. 望月めぐみプロフィール

- ・1978 年神奈川県横浜市生まれ。2013 年以降京都市在住。
- ・東京学芸大学教育学部美術工芸専攻在籍中の 2002 年より、切り絵作家として活動を開始。一枚の紙を刻んで生まれる切り絵特有の緊張感と透過美を活かし、寺院や茶室な

ど伝統建築空間における大型インスタレーション作品を多く手掛ける。

- ・近年は東アジアの神話や古代思想を主題とし、京都を拠点に歴史遺産から学びながら、人間の普遍的な精神性を現代作品として再創出している。また、素材への関心から国内外の紙漉きの取材を継続的に行っている。



【舞妓】



【大原女】



【紫式部】



【菅原道真】